

令和8年度シラバス（保健体育）

学番4 1 新潟県立栃尾高等学校

教科(科目)	保健体育（保健）	単位数	1 単位	年次	1 年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』				
副教材等	大修館書店『現代高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の3系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
--

3 指導の重点

- 各単元の健康課題や問題について理解を深める。 - 課題解決のための学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 - I C T機器を使用し、今後の解決策を考え、自分の生活を改善する糸口を見つめたりできるようにする。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評 価 方 法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・ノートやワークシート、 提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・学習カードの記述の分析 ・ペアワークやグループワークで の発言や取組の観察 ・レポート等の提出物の内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペアワークやグループワークで の発言や取組（他者や仲間への 関わり方等）の観察 ・学習カードの記述の分析 ・レポート等の提出物の内容 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	現代社会と健康	教科書 副教材	オリエンテーション（保健授業について）	1	・授業中の観察（発言や他者との関わり等） ・学習カード（記述の確認） ・プリント提出（内容の確認） ・ノート確認等
			1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた	1	
5			3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復	1 2	
6			6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康	3	
	前期中間考査		定期考査（範囲 1～8）	1	・テストの分析
7			9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康	2	・授業中の観察（発言や他者との関わり等） ・学習カード（記述の確認） ・プリント提出（内容の確認） ・ノート確認等
8			11. 薬物乱用と健康	1	
9			12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復	2 1	
10	前期期末定期考査		定期考査（範囲 9～14）	1	・テストの分析
	現代社会と健康		15. 現代の感染症 16. 感染症の予防	2	・授業中の観察（発言や他者との関わり等） ・学習カード（記述の確認） ・プリント提出（内容の確認） ・ノート確認等
			17. 性感染症・エイズとその予防	2	
11			18. 健康に関する意思決定・行動選択 19. 健康に関する環境づくり	1 1	
12	後期中間考査		定期考査（範囲 15～19）	1	・テストの分析
1	安全な社会生活		1. 事故の現状と発生要因	1	・授業中の観察（発言や他者との関わり等） ・学習カード（記述の確認） ・プリント提出（内容の確認） ・ノート確認等
			2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全	2	
			4. 応急手当の意義とその基本	2	
			5. 日常的な応急手当	2	
2	後期期末定期考査		定期考査（範囲 1～5）	1	・テストの分析
	安全な社会生活		6. 心肺蘇生法	1	・授業中の観察、 ・講習の受講態度等
			e-ラーニング講義受講&実技講習	2	

計 35 時間（50 分授業）

7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、ノートやプリント、学習カードを提出します。
- ・ グループワークやペアワークでの発言や発表など、授業への取り組みも評価対象となります。

8 担当者からの一言

- ・ 1 単位なので、欠席をしないで、授業時間は集中して取り組んでほしい。また、現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方、安全な社会づくりなどについて、より理解を深めるためにノートや学習カードを活用し、内容を整理しましょう。